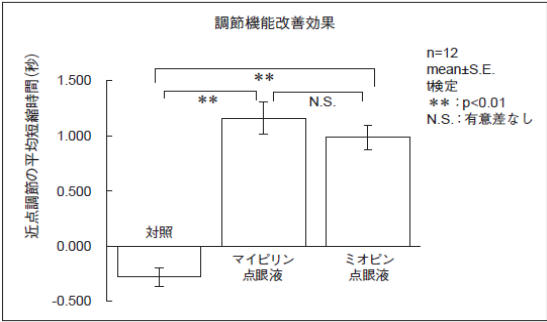


製品別比較表

2026年7月改訂

	後発品		標準品
商 品 名	マイピリン点眼液		
会 社 名	ロートニッテン株式会社		
規 格	1mL中にネオスチグミンメチル硫酸塩を0.05mg、塩化カルシウム水和物を0.3mg、塩化ナトリウムを6.5mg、炭酸水素ナトリウムを0.03mg、L-アスパラギン酸カリウムを3.5mg含有		
薬効分類	調節機能改善点眼剤		
薬 価	94.80 円／5mL1瓶		94.80 円／5mL1瓶
薬価差	0.00 円(5mL1瓶)		
1瓶薬価差	0.00 円(5mL1瓶)		
効能・効果	調節機能の改善		【標準品と同じ】
用法・用量	通常、1回2～3滴を1日4回点眼する。 なお、症状により適宜増減する。		【標準品と同じ】
添 加 剤	ベンザルコニウム塩化物、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、pH調節剤		ベンザルコニウム塩化物、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、pH調節剤
規制区分 貯 法	規制区分なし 室温保存		規制区分なし 室温保存
製品の 性 状	商品名	性 状	剤形写真
	マイピリン点眼液	性状:無色澄明、無菌水性点眼剤 pH:5.0～6.0 浸透圧比:0.8～1.0	
	標準品	性状:無色澄明、無菌水性点眼剤 pH:5.2～6.2 浸透圧比:0.9～1.1	
安定性 * 後発品	加速試験(40℃、75%RH、6ヵ月、最終包装製品): いずれの項目(性状、pH、浸透圧比、含量)も規格内		
生物学的 同等性	〔調節機能改善効果〕 マイピリン点眼液とミオピン点眼液について、健康人(成人男女計6名)を対象として近見負荷作業後の調節機能を評価した結果、両剤の近点調節の短縮時間に有意差は認められず、生物学的に同等であると考えられた。 調節機能改善効果 		
連 絡 先			